

(様式2)

平成 27 年度

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1591300114		
法人名	社会福祉法人 つばめ福祉会		
事業所名	グループホーム 白山町 燈(あかり)ユニット		
所在地	新潟県燕市白山町3丁目26番17号		
自己評価作成日	2015/10/1	評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.kaigokensaku.jp/15/
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	公益社団法人新潟県社会福祉士会		
所在地	新潟県新潟市中央区上所2丁目2番2号 新潟ユニゾンプラザ3階		
訪問調査日	平成27年11月19日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

当事業所は、設計当初より地域密着型事業所の職員も加わり、そこで生活を送るお客様が気持ちよく暮らせる空間づくりや働く介護職員の動線について検討を行った。

平成24年10月の開所後、自治会長のご協力をいただき、市民農園での農業活動や、地域子供会との合同行事などを催し、地域に開かれた施設づくりを進めてきた。

サービス面では「個別ケア」を推進すべく、個別介護留意事項の作成をはじめ、カンファレンスを通して、お客様一人ひとりにあったサービスの在り方を検討している。

また、管内の地域密着型事業所との情報交換を行いつつ、法人内事業所のサービスの質の標準化をすすめる為、介護士部会、看護師部会、計画作成担当者部会を開催しているほか、内部研修や法人が主催する各種研修への参加を通して、職員一人一人の質を高めている。

これらを通して、当事業所のモットーである「これまでの暮らしや人生について話を聞かせていただき、暮らしの思いを大切に、これからの生活を前向きに描けるような「個別ケア」と「安全で安心して過ごすことのできるケアの実践」をすすめている。また、「ひもときシート」を用いて、ケアの検討などを行ってきた。

今年度は、自治会・子ども会、保育園、小学校との継続的な交流機会を持ち、これまで行って来た取り組みや、施設の指節気脳の周知や地域住民からの声を確認する為、地域住民に対するアンケートを実施し、その結果を基に職員と話し合いを行ってきた。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

事業所は、母体の社会福祉法人として4ヶ所目のグループホームである。管理者はじめ職員が、これまでの経験や知識、専門職としての知見を基に様々な角度から検討を重ねながら建設に携わったことで、建物内の随所に利用者にとって暮らしやすい工夫がなされている。なかでも、介護職員の動線に着目したことで利用者へ素早い対応ができるようになり、サービスの向上につながっている。また、ユニット3ヶ所のトイレには、体格や身体機能が異なる利用者にとって使いやすさ、安定感を考慮したユニバーサルデザインの波型手すりが設置されている。トイレの出入り口で戸を開け閉めするために身体をしっかりと預けられ、便座の立ち座りを容易にする波型手すりは、利用者の排泄の自立支援に向けた環境の持つ介護力として役立っている。

職員との話し合いにより、これまでの9名の利用者・1ユニットごとの職員配置を18名の利用者・2ユニットの職員配置にして1枚の勤務表にし、それにより利用者支援に携わることとした。柔軟な職員配置の工夫をしたことで、ユニット間での介護量の多少の差が緩和されたり、職員の急な欠勤にもスムーズに対応できるなどのメリットが出現した。管理者は、職員が働きやすく、風通しの良い職場環境づくりを心がけている。

事業所は、これまで地元自治会や子供会との交流を積み重ねながら「地域に開かれた事業所」を目指して活動してきた。開設して4年目、グループホームや併設の小規模多機能型居宅介護事業所への理解、認知症への理解が地域に浸透してきたことを管理者は実感している。今後も地域になくてはならない存在として、地域の拠り所になるであろうことが期待される事業所である。